

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 26 週(6 月 23 日～ 6 月 29 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.65	(5.09)	↘	↓	↘	↘
2	ヘルパンギーナ	2.88	(1.76)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
3	A群溶連菌咽頭炎	1.29	(1.41)	↘	↘	↘	↑
4	咽頭結膜熱	0.97	(1.00)	→	→	→	↓
5	水痘	0.62	(0.79)	↘	↘	↓	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散發** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナが3週連続で急増しています。昨年は同時期に流行する手足口病の流行によりヘルパンギーナは目立ちませんでしたが、今年はやや早い時期から増加が始まっています。今週は1歳が最も多く、4歳までで8割を占めました。

ヘルパンギーナは発熱や口の中に水疱性の発疹ができる疾患で、夏かぜの代表的なものです。発熱時に熱性けいれんを伴うことや、口の中の痛みにより水が飲みにくくなって脱水症を起こすこともあるため、子どもの様子に注意が必要です。

また、咽頭結膜熱も毎週一定数みられます。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、プールで水を介して直接結膜にウイルスが侵入して感染することもあることからプール熱とも呼ばれます。これから夏本番を迎え、プールで遊んだり人混みの中へ出かけることも多いかと思えます。感染者との密接をできるだけ避け、手洗いやうがいを励行するなど、感染症対策を心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数は感染症が少なく減少している。感染性胃腸炎はウイルス性がほとんどみられず、細菌性が中学生以上に僅かにみられる。大流行していた溶連菌咽頭炎も減少している。替わって水痘となつたかぜが増加してきた。ヘルパンギーナが主で、手足口病もあるが発疹は小さい。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は曜日によって変動あるが減少傾向。高熱、軽度咽頭発赤の夏風邪が流行中。1歳、4歳の兄弟のアデノ例があり高熱遷延、結膜炎遷延のため紹介入院の例があった。ヘルパンギーナは少ない。手足口病も見られない。感染性胃腸炎は嘔吐を伴い下痢が軽症でウイルス性の様子。その他 A 群溶血性連鎖球菌感染症が少し。

南部地区(県立五條病院小児科)

ヘルパンギーナを主とする夏風邪が増加。高熱は1～2日でおさまるが食欲不振、頭痛が伴う。手足口病の流行はない。嘔吐中心の胃腸炎も多く、食中毒との鑑別が必要。また屋外(南部は農地・山が多い)ではマダニ咬傷が時々受診、SFTSの合併はないが腋窩リンパ節腫脹が1例あった。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 26 週 6 月 23 日 ~ 29 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	33 (0.97)	3 (0.43)	19 (1.90)	2 (0.29)	8 (1.14)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	44 (1.29)	24 (3.43)	6 (0.60)	3 (0.43)	9 (1.29)	1 (1.00)	1 (0.50)	
感染性胃腸炎	124 (3.65)	10 (1.43)	53 (5.30)	24 (3.43)	25 (3.57)	6 (6.00)	6 (3.00)	
水痘	21 (0.62)	16 (2.29)	3 (0.30)		1 (0.14)	1 (1.00)		
手足口病	10 (0.29)	4 (0.57)	6 (0.60)					
伝染性紅斑								
突発性発しん	13 (0.38)	4 (0.57)	1 (0.10)	5 (0.71)	1 (0.14)	1 (1.00)	1 (0.50)	
百日咳								
ヘルパンギーナ	98 (2.88)	25 (3.57)	20 (2.00)	30 (4.29)	19 (2.71)	3 (3.00)	1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.14)						
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	2 (0.22)			1 (0.50)			1 (1.00)	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎								-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 4件(奈良市 2、郡山 1、葛城 1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件(郡山 1)
4類感染症	A型肝炎 1件(桜井 1)
5類感染症	アメーバ赤痢 1件(郡山 1) 後天性免疫不全症候群 3件(郡山 1、桜井 2)

❖ 第 26 週のトピックス ❖

狂犬病について (厚生労働省HP更新)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/>

中東呼吸器症候群 (MERS) の発生状況について
<http://www.forth.go.jp/topics/2014/06271124.html>

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計
インフルエンザ	男																					5965
	女																					5982
RSウイルス感染症	男																					133
	女																					116
咽頭結膜熱	男		2	4	6	4	3	4	1				1									25
	女		1		1	1	1	2	1	1												8
A群溶連菌咽頭炎	男		1	1		1	9	4	3	1	1	4	3									28
	女						1	1	2	2	8	1	1									16
感染性胃腸炎	男		5	9	8	2	7	7	2	3	1	3	8			8						63
	女	1	7	5	4	3	2	3	2	4	2	4	4	2	13							61
水痘	男		1	2		1			1	2	1	1										9
	女		1		5	1	1			2		1	1									12
手足口病	男			1	2		1															4
	女			3		1	1		2													6
伝染性紅斑	男																					28
	女																					32
突発性発しん	男		3	4																		7
	女		3	2	1																	6
百日咳	男																					
	女																					
ヘルパンギーナ	男		2	17	9	4	11	6	1	2												52
	女		2	10	10	9	6	4	2	2		1										46
流行性耳下腺炎	男																					
	女												1									1
急性出血性結膜炎	男																					
	女																					
流行性角結膜炎	男																					
	女																2					2
細菌性髄膜炎	男																					3
	女																					1
無菌性髄膜炎	男																					5
	女																					1
マイコプラズマ肺炎	男																					1
	女																					1
クラミジア肺炎	男																					
	女																					
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																					18
	女																					18

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均

